

令和7年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

児童の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
【国語】 ・自分の考えを、豊かな語彙を使って表現すること。 ・作者や筆者の思いをくみ取りながら、文章を読み取ること。	・自分の考えを明確にし、それを的確に表現する豊かな語彙力。 ・物語の背景や説明の論理性をふまえながら読み取る力。	・様々な活動を通して、気持ちや思い、考えを表現する言葉を身に付けさせる。 ・物語の行間を読み取ったり、説明文の組み立てや構成に注目させたりしながら読解力を身に付けさせる。
【社会】 ・資料から読み取ったことをもとに社会的事象に関する思考を深めること。	・資料から情報を正確に読み取る力。 ・複数の資料から読み取った情報を比較したり、関連付けたりしながら、社会的事象を様々な角度から考察する力。 ・考えたことを自分の言葉で表現する力。	・資料の読み取り方について確認する時間をとる。 ・小集団で考えを伝え合う活動を取り入れることで、様々な考えに触れさせ、社会的事象を様々な角度から考察できるようにする。 ・学習を振り返る活動を必ず取り入れ、分かったことをまとめるだけでなく、自分の考えを書くように指導する。
【算数】 ・問題文を正確に読み取って立式すること。	・基にする量・比べる量などを正しく読み取り、数直線に表すことを通して、正しく立式する力。	・基にする量・比べる量などを、文章の中から取り出し共有することで、自分で見付けていけるようにする。数直線などを使い、考えを整理する方法を押さえ、ノートに記述する機会を設ける。 ・少人数の集団に分けて学習したり、学力向上推進ティーチャーと複数体制で個別の指導を行ったりする。
【理科】 ・既習の知識と実験内容を結びつけること。 ・観察や実験などを行い、正しく内容を分析すること。また、実験結果から考察をすること。	・学んだ器具の名称や実験方法を、実験の中に生かして次の学びにつなげる力。 ・実験結果を正しく読み取る力。実験によって得た知識を基に、因果関係や規則性を筋道立てて説明する力。	・実験の中で、積極的に器具の名称等を取り上げて児童の話し合いや交流、グループ活動の中で使えるようにする。 ・実験結果を考察する際は、小集団などで友達と伝え合う活動を十分に取り入れ、実験結果への理解を深める。結果を比較検討させることで論理的な考察につなげられるようにする。